

久松

秋迺七草



^ 13
3393
5



門 18
3393
5

源情史秋七草

卷之五上

東都

曲亭馬琴

編次

第九

撫子小

かみ草

三内
十日野
十回野
十回野
十回野

起るてど。主の像見の姫君ふ。うれ名もちるも推くま。皆の山家かひ
すれま。由。登由。強。の。庫の中。久松と。竹。やん。阿也。女。声。く。密
て。非。八。同。漏。と。耳。を。側。く。竊。向。ふ。且。く。く。阿。也。女
か。ひ。や。う。縁。故。を。目。今。い。ひ。つ。る。と。い。り。ん。る。と。ふ。り。ん。か。お。深。か。不。後。の
歌。手。と。名。告。く。大。晦。日。の。婚。姻。を。妨。て。ま。ふ。り。と。ふ。跡。の。野。と。ま。れ。山。家
家。の。家。を。汚。せ。ど。身。の。汚。さ。く。女。思。か。幼。少。と。れ。別。ま。く。後。の
方。志。ま。ぬ。結。髪。の。夫。の。為。小。ま。つ。る。若。郎。と。久。松。か。い。つ。よ。の。あ。る。か。へ。

源情史秋七草

一

一

この性の信の。その。さ。あ。い。く。で。い。あ。の。い。紙。憑。と。す。え。ん。り。の。と。信。た。家。の。
 断。は。ま。情。も。ぬ。ま。情。の。汲。川。を。さ。る。母。が。胸。苦。し。と。取。精。し。て。ま。
 へ。さ。と。と。丹。五。兵。衛。の。由。久。松。と。ま。納。得。せ。ば。そ。ん。ま。と。と。幸。の。あ。い。
 と。意。決。ま。ら。し。く。申。す。り。彼。を。非。ハ。つ。と。る。め。げ。ふ。忠。心。め。り。し。
 誓。ま。の。ん。と。針。岐。奸。曲。邪。智。と。れ。あ。ぬ。ま。と。と。の。あ。い。ね。ど。彼。は。
 便。る。ま。ま。本。も。附。む。草。の。ゆ。り。と。ま。ゆ。ま。ゆ。も。気。色。よ。え。せ。と。
 彼。は。曉。り。ま。し。と。理。る。れ。言。結。ま。久。松。と。呆。く。意。も。せ。り。し。
 や。一。改。を。擡。自。の。羞。を。雪。め。し。と。野。の。金。り。と。救。ひ。の。い。し。
 恩。の。い。主人。脱。ま。ぬ。難。を。脱。ま。ん。為。ま。救。の。め。ぬ。小。新。ま。と。
 掌。合。さ。ぬ。ま。ま。宣。入。を。い。ま。固。辞。作。ま。受。入。期。の。ま。ま。
 乾。少。と。と。誓。君。の。又。の。詩。ま。ま。と。と。秋。捨。と。と。命。と。と。

惜。と。る。ま。い。信。と。と。ま。く。れ。ど。も。マ。カ。身。の。三。人。の。親。あ。り。い。は。
 ら。ま。ま。一。実。の。又。母。と。マ。マ。の。や。り。や。の。名。も。あ。ぬ。火。の。筑。紫。の。
 小。人。と。ま。り。故。郷。あ。れ。ば。去。年。の。冬。養。父。は。伴。且。河。内。の。野。崎。へ。海。
 び。の。親。は。異。ま。る。り。も。あ。り。か。れ。敷。さ。ぬ。せ。ど。や。あ。ら。ん。別。ま。て。後。の。音。
 耗。ま。た。又。久。作。か。先。途。を。見。ど。不。只。後。の。縁。し。ま。家。公。の。恩。を。二。景。て。
 恩。を。報。ひ。十。六。年。を。一。期。の。夢。春。あ。の。あ。ら。く。埋。木。の。埋。ま。ぬ。名。の。止。
 かく。ま。も。あ。ら。び。て。索。迷。り。ん。又。久。作。か。世。の。風。声。を。葉。ま。ら。へ。ま。
 ろ。の。年。の。尾。小。瀨。岐。の。金。毘。羅。へ。代。糸。小。娘。を。な。り。ま。ま。ま。あ。い。
 一。ら。へ。く。正。月。を。過。し。ま。ま。一。か。節。の。春。の。日。の。長。さ。別。ま。ま。告。ぐ。
 あ。れ。者。と。ま。ま。も。よ。り。と。り。ま。平。向。の。水。も。逆。ま。ま。跡。吊。の。親。
 悲。傷。を。ま。ひ。ま。ま。と。胸。苦。し。と。意。も。あ。ら。く。休。く。膝。の。涙。

の命を思ふは吝く惜まらぬ言の信よりそは門也女也
 拭ひその夜を明けバツれのころもて親子三人が幸ありよ
 税平公公が猛くとの婚姻せし妻ありぬぬか深か密夫を
 とく。破中殺しゆかよとてさかふらさるひと。そる一人を
 殺す可愛き女兒の命助るらんめは苦しれぬ六筆の跡一
 且誓ひし婚縁をいひ延るゆへの詐術よか深ありそる
 の弱車ふれ絶くぬび生ごらりて淫まらる。又川は忠臣貞
 女と人ふ賞美さし。美なる女兒と小厮を冤く。淫奔あり
 いのよる。祝の周業か子又報ひか縁く。誓まらる。主役
 薄命なる前世の仇人いなりか。裏ひぬと必し啼めよ。嗚呼
 どつびらよ。猿啼ねど申の時。冬の横日の短く由。障の
 入り。さるひの外は長居せ。人よまらる。疑はる。といひ
 つまあがる。門也女か後久松由ある門口よゆる。泣の音
 非ハ。慌忙走り退き中庭より小をれ縁よ手ぬ又さく。り
 主か主るれが女房さ。んは腕やど化骨おらして久松より
 さるの腹さ。君臣をさるとは。塵芥のどく。れば臣君を
 言。誓敵のど。とやんいんをさる。坊主を憎か。か密衣
 さ。久松か賢か。自ら眼よもえ。る。堪む。この通報をせ。や
 ある。謀より。謀を行ん。あ。い。う。二。る。れ。志。を。示。せ。る。その。如。故
 子。彼生女兒と生少年が。浮名を。唄。し。税平は向火を。焼。つ。り
 まが。久。松。を。殺。す。と。その。騒。ぎ。よ。紛。ま。り。君。を。い。ま。さ。ひ。と。ま。え。し。

水滸傳 卷之五

二二



ひまわり
久松を
か深法
神社へ
詣つ

兼生
りり
る
の

久松神史卷之五

あめり

あめり

霞そのあし一年の内よ。春とらる名の浅き。と歎く二八の望。可
 惜黄金を尾町へおればうの字して尾橋とも呼ぶるもの。鼻口
 へいよと傾ねど。酉やと調町より入が指し。あんや名とる。
 淫奔女兒お深る。山家とやんり。新布を揃ふとり。由理うら
 ぶ。廣さ浪速よ傳うた久松とら。小所を被る。さても愛うた
 か年うみ。とあるもあしぬゆ。立在る。声憚らむ。呼びし。恋せぬ
 んよ。うらむんば。くへ。浮名のまらんとええ。るお深と久松と。面を
 めりて嘆息。捐瞻望る東町。春の色とく梅押ゆ。注進の内
 ろの。小所の社改。よ系流の老弱とま。えんを。執る声の草紙よ。こ
 頼杖樹と。嗚呼がましく。

変り居く。ん。今茲の室の梅。も折る。散ゆ。包む。その

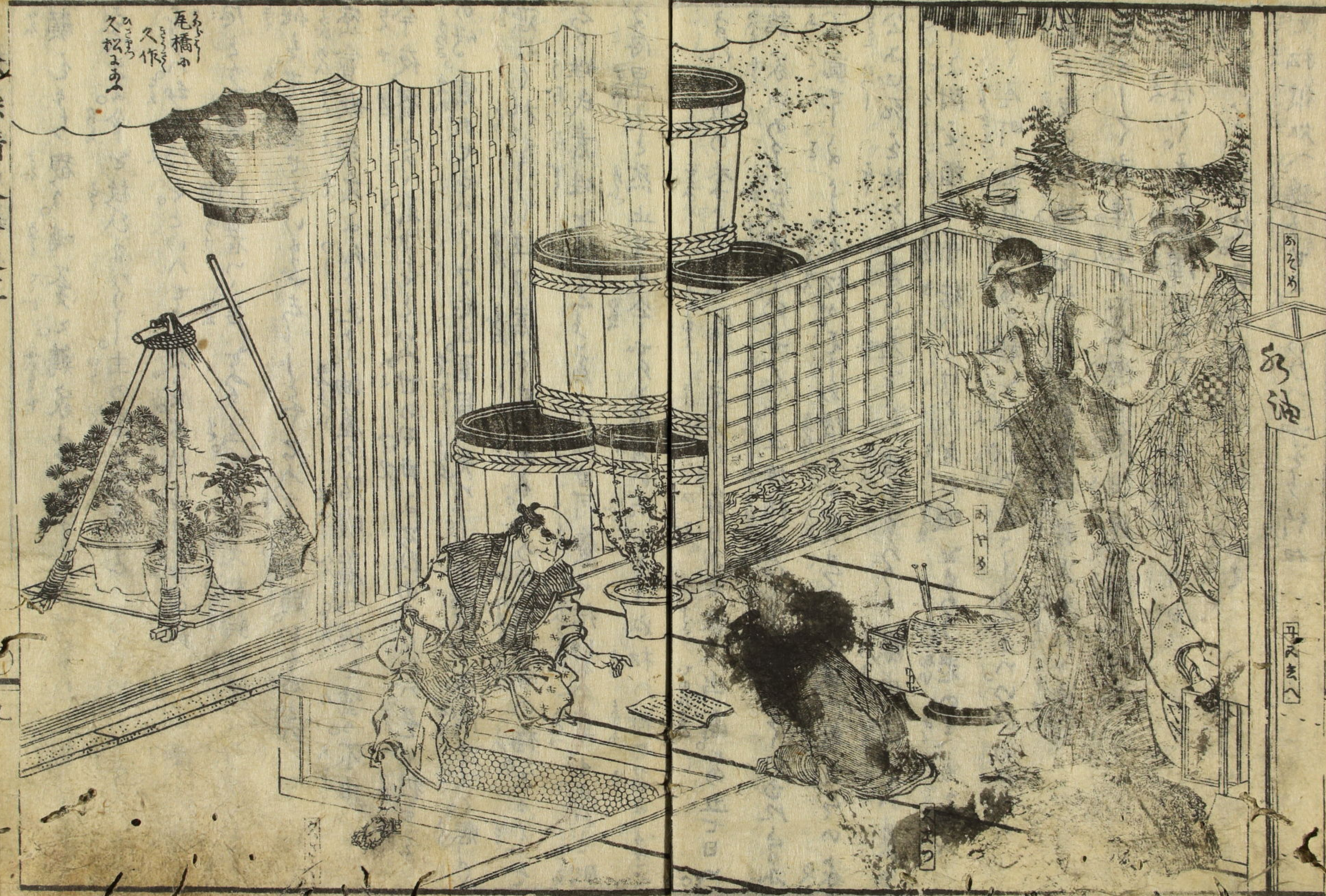
香のりり。り。小。發と甘。よ。ろ。名。小。高。き。所。と。浪。草。東。確。や
 や。鬼。門。の。角。屋。舗。尾。町。う。油。賣。る。恋。の。山。迹。女。お。め。え
 ん。と。き。る。み。み。ら。秋。の。と。ろ。う。物。思。ひ。ひ。一。雛。親。の。久。松。と。の。ひ。く
 小。私。の。か。ら。愛。あ。も。親。と。ま。う。と。あ。う。う。う。縁。の。え。の。の。が。魚。の。油。は
 水。と。く。婿。の。終。つ。の。あ。ろ。う。そ。の。ま。ん。さ。ま。ん。だ。積。の。種。菜。種。の
 の。か。蝶。の。翅。を。な。て。り。え。と。も。死。ん。と。あ。ひ。あ。ら。う。送。を。い。と。哀。る。う。
 と。う。返。し。つ。鳴。ひ。り。久。松。の。く。堪。難。く。お。深。か。袖。を。そ。と。て。見。あ。れ
 る。面。の。靨。う。る。る。是。由。彼。を。非。ハ。か。他。ア。と。や。唄。と。ん。腹。さ。さ。る。と。恨
 てる。恨。ん。と。う。の。う。く。新。護。の。油。垢。脊。の。汗。の。冷。灰。け。の。その。悪。名
 を。懼。れ。ぬ。ま。情。る。う。う。小。主。従。か。き。情。よ。浮。名。を。唄。う。こ。ま。る。過。世
 の。業。報。る。ん。歎。め。入。る。歎。と。互。よ。練。め。練。め。清。さ。ゆ。と。神。を。

宝前よあはれ願著く。かた家路へしりぬる。衣と負くハハとて城
 ハハと見りつゝ携せよその名とさめりや。○人足繁る大歳の一
 千代と祝へども身の憂るの越え後。よそ山迹家丹五兵衛ハ
 平かまき以るん。婚姻の儲ゆりせむ。秘より炬燵は假寐の
 くと撞の声。黄昏ハ殊さよ油買人迹絶る。大つどりりあ
 上と下へとくく。席薦の表羽玉の春を迎へ年徳の棚は晃く
 燈火もあはれハ梅樁水仙の福壽艸ゆいゆめ。えんやゆめ
 とゆ声高き降樹賣ハ初何げり髪ハ霜。二重の腰ハ八重梅と
 乙女雪の根あり。松歳暮年以一行は擔人。冬木と春の花替吉
 例壽ハあはれ。店前近くゆびつゝおぬ也。女ハ裁縫商人ハ
 夢くつそいづ。小まきうき。久松よひや。おとよぬ背入る。小年乃
 尾の径堂ハ紛とく。島臺ハ准由せむ。蓬萊ゆやぶ飾りねむ。
 陣の樹みく物とあハせん。所よげは店前ハ便る。背門口より
 入はる。さくく。いとよまむ。久松ハあむ。名喃とと振れ。せむ。
 脚門と押開き。綉さる。いと。商人ハ擔。やう小鞆の陣の樹を
 扛く。縁の下よらあら。松と梅と左右ハ。抱。例年の吉祥
 ハ子孫繁昌の花の兄冬籠る浪速津也。今宵一夜ハ明もめて。
 子の日の姫松陰陽和合松く。くはら。うりた。就さめさる。いと。声
 似より。と久松ハ指燭と縁より。う。抗。老眼るれ。見由建へむ。
 孩見る。と。家。の大人。恙。坐。杖。く。サ。の。あ。う。
 たり。と。い。つ。撲。地。と。さ。り。落。を。梅。と。の。久。松。も。走。り。よ。う。つ。と。
 さら。涙。と。子。が。同。づ。る。の。由。泣。む。喜。と。袖。よ。め。

八ノ六 情史の八ノ六

のヤめ めりさま 阿也女々々の形勢よ。よそやと猪ほくく障子まじりの風。遠く出く久松を
 くら瞻まかり久松と孩児こどもとゆふ。豫よもその名を覚しく。野崎のまきの久松ひさかたよ
 るんいぬ。秋あき河内かみへ信まことさ。さるか。おん身みが往ゆ方かたへ絶たまくとまほ。親おや
 と暮入くらし孝子の歎なげふ。ふらふ痛いたく。環會めい中ちゆう海かいしうるんおらう
 とうらぶ。対面たいめんハ戒おとえた。丹五兵衛にちごべゑよの由。さそを飲のびのふらえ。
 ふ一ひと残のこる縁えんふと。久松ひさかたとり使つかふ。その物ものさうハのと長ながさよ。か
 裳しと川がはいろ。火桶ひづくの何なにと居ゐらう。久松ひさかたと云いふ。さうく。吹ふかれ。久
 松ひさかたの深ふかの巾きんと脱ぬぎ腰こしを弓ゆみめ。え。慢まんらう。内室ないしつも其その如ごとく坐ま
 せ。ふたれ。ハ名告ななこさう。よ。及および。四月しがつの頃ころより久松ひさかたが往ゆ方かたを只ただ
 菅索くわんさく巡めぐる。京きやう堀ほりさる。亦浪速またなみさう。の艶治えんぢ郎らうをそ。由よし。甫ふさ。少年せうねん
 ふらえ。おの。神かみよ。仏ぶつよ。秋あきの季きより。旅宿りょしゆくと定め。毎日まいにちふ里巷りやうへ出商でしやう。その五七日ごしちにちハ
 鶏家けいけのあ。又また四郎しやうらうと申まをん。生垣なまかき結むすぶ。身みを。傭やうと。い。お。た。ふ。
 不圖ふと申まをる。久松ひさかたが。おの。彼人かひにんよ。買かひま。浪速なみへ赴むかふ。その家いへ
 公こうふ。心死しんじを救すくふ。身みの羞はにかむ。雪ゆきめ。おの。縁由えんよしと。申まをす。ハ。の。由よし。
 手てふ。附つ。垣かき。由よし。羊ひつ結むすひ。け。身みの暇ひまと。申まをす。老おいの。足あし。も。飛とぶ。か。
 ぞ。尾町おむちやうと。投なぐ。身みの。親おやと。必かならずび。入い。ま。さ。う。身みの。い。ひ。あ。い。さ。ね。ど。
 恩おんと。長ながの。重擔じゆうたんと。おの。身みの。僮伴じゆうばん。孩児こども久松ひさかたが。稟りやう。おの。恩惠おんゑいと。
 高たかう。く。武庫山ぶこやまの。深ふかさ。浪速なみの。浦うら。は。似に。命いのちの。報うら。おの。
 主しゆふ。仕つかく。その。恩澤おんたくの。と。よ。る。を。おの。由よし。おの。由よし。ハ。の。由よし。
 受うへ。つ。ら。う。さ。おの。許植しよちくの。梅うめと。松まつと。おの。由よし。おの。由よし。ハ。の。由よし。
 久松ひさかた彼人かひにんへ。進すすむ。せ。よ。と。い。ひ。つ。や。を。竹縁たけえんへ。おの。由よし。おの。由よし。ハ。の。由よし。

久松ひさかた彼人かひにんへ。進すすむ。せ。よ。と。い。ひ。つ。や。を。竹縁たけえんへ。おの。由よし。おの。由よし。ハ。の。由よし。
 久松ひさかた彼人かひにんへ。進すすむ。せ。よ。と。い。ひ。つ。や。を。竹縁たけえんへ。おの。由よし。おの。由よし。ハ。の。由よし。
 久松ひさかた彼人かひにんへ。進すすむ。せ。よ。と。い。ひ。つ。や。を。竹縁たけえんへ。おの。由よし。おの。由よし。ハ。の。由よし。
 久松ひさかた彼人かひにんへ。進すすむ。せ。よ。と。い。ひ。つ。や。を。竹縁たけえんへ。おの。由よし。おの。由よし。ハ。の。由よし。
 久松ひさかた彼人かひにんへ。進すすむ。せ。よ。と。い。ひ。つ。や。を。竹縁たけえんへ。おの。由よし。おの。由よし。ハ。の。由よし。
 久松ひさかた彼人かひにんへ。進すすむ。せ。よ。と。い。ひ。つ。や。を。竹縁たけえんへ。おの。由よし。おの。由よし。ハ。の。由よし。
 久松ひさかた彼人かひにんへ。進すすむ。せ。よ。と。い。ひ。つ。や。を。竹縁たけえんへ。おの。由よし。おの。由よし。ハ。の。由よし。
 久松ひさかた彼人かひにんへ。進すすむ。せ。よ。と。い。ひ。つ。や。を。竹縁たけえんへ。おの。由よし。おの。由よし。ハ。の。由よし。
 久松ひさかた彼人かひにんへ。進すすむ。せ。よ。と。い。ひ。つ。や。を。竹縁たけえんへ。おの。由よし。おの。由よし。ハ。の。由よし。
 久松ひさかた彼人かひにんへ。進すすむ。せ。よ。と。い。ひ。つ。や。を。竹縁たけえんへ。おの。由よし。おの。由よし。ハ。の。由よし。



尾橋
久作
久松

松竹見巻之五

水油

五



顔をうら顔。喃々。鶏家あくうう人とやめぬ人らしし。お母
 とごま。命を救ひぬく。主の恩をさすやあつぐや。うんうん。と宣
 らん。紗をひくと。いんせむあんじ。久作もく。見の襟上。いも。暇を
 向らう。楚と。著つ。声さう。主をさ久松。齡六十より。くく。久
 他と。老。老。せむ。いも。あつ。と。や。い。主の令。弱。お。め。め。め。と。や。んと
 密會。歌。祭。文。よ。他。く。ま。く。油。屋。の。店。暖。簾。へ。泥。を。塗。る。不。忠。不。義
 今夜。婿。い。の。本。中。と。い。ふ。世。の。風。声。よ。る。ひ。あ。ん。さ。れ。ば。乞。も。彼。も。見
 の。情。案。め。せ。む。い。く。す。む。小。面。目。へ。失。つ。と。か。は。い。と。て。度。や。く。悲。
 恋。く。朽。く。泣。く。案。く。來。る。又。と。ろ。ろ。子。故。の。圃。の。梅。あ。る。人。ぞ
 名。氏。素。姓。と。い。ひ。あ。つ。さ。ぬ。と。汝。が。可。愛。さ。結。髪。の。妻。も。あ。れ。ど。時
 ら。毎。早。し。と。然。止。せ。も。今。が。い。の。身。の。仇。と。り。ぬ。松。の。標。の。名。よ。よ。ま。て。

久後。久。と。あ。つ。さ。る。や。秘。案。い。の。津。樹。岡。も。あ。り。合。ひ。あ。り。早。咲
 あ。は。は。お。と。梅。の。お。漆。ど。い。合。の。花。花。盗。人。も。よ。が。ひ。松。主。の。女。見。を
 瑕。瑾。ふ。せ。密。夫。い。れ。ば。首。へ。統。ま。ど。身。を。賣。つ。由。部。り。の。親。を。救。へ。と
 い。親。と。あ。り。楊。貴。妃。小。町。ふ。す。せ。と。い。は。運。ひ。く。身。が。死。亡。す。や。久。他
 と。さ。れ。く。ま。れ。ま。し。と。ね。実。の。二。親。と。高。恩。受。つ。主。へ。謝。つ。と。若。う。ん
 や。忠。る。う。ん。や。い。ひ。か。ひ。い。つ。と。齒。を。切。り。擧。り。固。り。拳。の。上。に。霞。を
 ち。血。の。涙。誠。より。と。る。教。訓。よ。久。松。へ。身。を。伏。す。胸。若。く。は。夜。更。に
 阿。也。女。い。え。も。痛。う。う。実。の。不。義。不。而。り。に。よ。る。那。も。い。の。ま。ね。い。も。實
 う。ぬ。く。い。も。見。ん。と。る。う。り。け。と。婢。の。手。を。竊。盗。ん。お。漆。と。や。と。ま。る。と
 中。久。松。が。笑。く。久。作。ど。い。と。や。ん。ん。膚。の。色。情。と。さ。腹。き。い。れ。す
 理。う。い。と。さ。ま。ふ。の。深。さ。情。由。あ。つ。と。後。い。ぬ。く。泣。泣。め。ぬ。久。他

恨しげよほくぐと見えたり。標致をうけしど少女は似げれば
 さまざまの女よすく生らるもつた果ぬ。後見よ早晚淫奔を教
 て老らぬ親中ふ面うた歎き泣きもひぬ。まご婚姻ハ結ばとも
 結髪ハ夫を嫌ひく。化るうくふ名をうらひ。親ハ油断といひらる
 女ハ女男ハ男ら揃ひらる理らと。今ハ世ハ小女見とえ生ハ
 夕貞さ。らひさうええくも熟くぬ。その夕息ハ宿るも。惟光ハ母ハ
 色情ハ汲いけく。奴ハくるてや。それこそ恨くも責ても及ぬ
 主なり子なり。今ハ放せば互ハ僥倖久松か。らひ絶く。今厨ハ
 婚姻さ。備次ハ親ハの紗紙ハめり。おとすもあさ。受け。必し迫り
 十日寺く。夏ハのひハ死神ハ誘い。きと深念く。戒ハ道ハ。孝ハ
 彼霸王樹ハ。齊ハ。その形ハ似と。俗ハ位牌木ハ。綽号ハ。いと

惜とあふ。可愛とあふ。臭く息のわく。内ハ。位牌とらる。く
 戒名と。信士信女と書る。く。年ハ一度ハ牛女ヤ。雛ハ。芳ハ。奉
 空泡沫。常ハの朝茶湯。親ハの手ハ。く。手ハ。向ハ。く。残ハ。あ
 の悲傷ハ。情郎ハ。を。あ。絶ハ。あ。牙ハ。歎ハ。あ。い。す。て。く。ら。ん。と
 思ハ。あ。下。め。く。逢ハ。く。を。い。め。く。い。教訓ハ。思。高ハ。家ハ。く。く。く。
 竹園ハ。浦ハ。甘ハ。母ハ。親ハ。終ハ。と。あ。泣。く。ゆ。く。い。穉。果。ハ。文。松。ハ。あ。
 の暇ハ。只今ハ。さ。じ。く。く。く。とい。果。く。く。見ハ。手ハ。決。ハ。く。お。く。あ。れ。
 蒸襖ハ。を。と。開。ハ。あ。久。他。ハ。あ。く。あ。と。呼。び。届。る。あ。ハ。え。別。人。ハ。あ。ん。
 す。あ。ら。あ。あ。丹。五。兵。衛。さ。う。棧。留。布。ハ。袴。ハ。の。袴。ハ。押。し。け。り。上。坐。り
 母。煮。と。坐。り。い。れ。と。と。と。と。の。ら。か。深。ハ。久。松。ハ。為。あ。る。主。さ。り。と。思。ハ
 被。せ。く。名。生。り。あ。あ。ね。ど。件。ハ。小。厨。ハ。不。義。淫。奔。ハ。憎。ハ。主。家。ハ

枕詞集巻之五

多へておぼくぬん。とりつゝハハハハ。秋もやまを主の威光。今宵も
 今宵も。復顔く。婿が為は二人。忽地首級喪る。と申す。世
 懐多し。わつよせん。三十金の身價と。引くえり。や久松を國。結
 面へ。一步も出が。その金をり。来ま。唯依や。と物。結
 同。久他。い。と。ふ。當然理。迫。勢。脱。撲。地
 と坐。頻。嘆息。浩。麿の。新。郎。の
 ひぬ。と。生。口。林。婢。小。厮。か。声。丹。五。兵。衛。と。豫。や。必。し。る。よ
 と。驚。き。ま。と。妻。の。裳。と。と。騒。々。気。色。の。く
 丹。五。兵。衛。山。家。税。年。ハ。是非。ハ。案。内。と。縁。煩。う。繞。り。結。の。脱
 する。麻。上。下。也。裾。の。出。古。小。袖。浅。黄。の。裏。垢。染。く。嵐。と。ん。も。敷
 う。め。の。こ。の。婿。と。い。わ。ん。と。い。と。他。げ。多。席。薦。の。縁。は。足。踏。く。わ。あ。や。や。う
 歩。と。入。く。東。面。は。坐。う。あ。れ。も。お。深。く。久。松。由。伏。沈。と。
 丹。五。兵。衛。を。握。び。阿。也。女。ハ。眉。と。う。ち。頻。算。め。丹。五。兵。衛。ハ。手。紙。又。さ。る。見
 う。う。の。の。物。の。へ。う。あ。ぬ。是非。ハ。信。と。小。厮。と。燭。臺
 不。打。次。点。と。是。首。被。首。は。小。晴。か。久。他
 とい。と。苦。い。げ。あ。是非。ハ。後。方。は。退。く。當。年。ハ。扇。湯。は。作。り
 丹。五。兵。衛。又。對。ひ。故。く。婚。姻。を。及。ん。で。待。た。い。の。志。あ。ぬ。婿
 翁。の。好。み。破。じ。と。枉。ぐ。仏。顔。と。不。憎。う。つ。る。盃。の。准。依。や。打
 湿。つ。て。足。を。ら。後。次。の。ど。い。は。衣。服。と。更。め。付。く。は。れ。ま
 嫁。振。婿。へ。さ。の。の。他。法。あ。ど。う。づ。忙。し。大。歳。の。ハ。さ。れ。り。や
 畧。く。と。由。こ。の。あ。ま。り。又。與。り。さ。り。盃。と。い。と。あ。け。よ。丹
 五。兵。衛。と。い。は。く。一。且。送。ひ。と。女。思。が。婚。姻。の。小。す。や。推。辞。と。い。は。

...

...

今宵脱る言詰り。但胸苦れハ一條の物よりあり。脱がらば
 けしめん。羞を志しむる小似れども。いふせん。はれや密夫ありて。脱
 小有身ぬらり。進曾外も。夢を。驚れぬと。破漬の面を
 照よ。いほ。公行。女子ハ疎く。男姑の面小観る。彼ハ
 身の暇をぬせ。お條。さ。ま。れ。り。ゆ。め。れ。ん。干。て。誓。言。の。食。を。取。
 る。ね。ど。も。の。肆。を。進。む。れ。ば。浩。業。を。相。続。し。り。ど。い。れ。せ。も。果。は。
 税平ハ顔赤す。筋よく。眉尻も。こ。ま。み。声。を。激。し。云。朽。を。ま。り。
 を。吹。く。り。の。な。の。肆。を。所。与。と。い。ひ。燈。書。ハ。そ。ろ。じ。その。人。ら。う
 彼此の巷。又。唄。歌。祭。文。も。久。松。が。り。の。い。ま。あ。り。り。の。い。ま。臥。房。を。俱。又
 せ。ど。も。結。髪。す。女子。を。小。斬。る。と。奪。れ。る。刀。も。あ。り。を。ひ。る。い。
 件。の。久。松。云。這。奴。が。り。飲。之。出。上。淫。婦。奸。夫。を。押。る。首。を。落。し。て
 熱腸を冷ん。と。出。る。と。い。れ。ま。た。刀。の。鞘。は。手。ぬ。く。ま。ば。是非。ハ。と
 そ。ろ。給。が。存。み。存。り。久。松。が。改。髻。を。ま。と。う。ぬ。廻。を。引。く。せん。と。と。る
 外。を。引。く。も。と。久。作。が。つ。と。物。推。隔。は。妨。と。罵。り。と。裳。を
 翻。り。破。と。蹴。る。脚。首。投。り。捨。捨。バ。助。斗。を。う。り。て。振。搏。を。非。ハ。と
 跳。く。え。と。税。平。が。抜。く。る。又。の。下。久。松。を。推。る。ゆ。り。て。項。を。袖。へ。名。告。
 中。も。も。嗚。呼。る。ん。が。お。條。の。不。美。の。款。手。ハ。久。松。が。秋。野。時。乃
 久。松。の。見。の。代。は。自。改。を。誓。ふ。と。く。壻。の。殿。と。一。刀。は。誓。ひ。と
 ころ。半。ふ。控。る。お。ま。毛。小。臆。ま。下。と。久。松。を。慌。忙。と。又。を。退。
 状。を。殺。す。阿。容。と。命。を。助。け。ら。ん。と。お。ま。の。死。所。行。を
 せん。や。代。え。と。宣。入。る。世。瓜。形。も。急。を。放。死。る。後。久。松。が。看。り
 けしめん。曉。る。先。と。不。孝。を。許。し。と。い。ひ。て。淚。押。拭。ひ。程。の。云

松平傳 卷之五

二二二

又の下へる。母のつ子とて退く。其不覚ありて死にける。久
 松が親と子が思ふの爲に死を辞せむ。最期を筆に形勢を
 平へ接りける。又をおさめと呵々と冷笑ひきく。謀りたり。其
 とる小厮が身なりか。白改とて行くせん。是非八と申。油
 久松とてその逃しとていひ諭せば。是非八とて力をはりて久松
 ころ捉り。圓る眼を睜り。とやん色の生白げる。えまのまか
 たりて。いふべし。其の鞍多れど。おもむきとていふ。しが。秋
 新。前髪ごらの年よ似げり。老管口を開かせ。その主の
 氣よあふるれば。といひぬる。小驕慢り。盗むりのみ。紙缺り。内
 の人の暗を盗む。結髪の背とのみ。愚蠢あり。親方の女児を盗む
 が痛痛けし。主の面よ観り。あつと。母をそれ。皇天とて許り。

人をりく。いふ。辻流の。赤染史。織石。仏よ。死夫。ありとも。妻
 敵と誓ひ。ごとの。罪九り。る。いふ。背の。殿。が。と。つ。り。今
 生の。暇と。さ。し。む。ひ。ね。と。い。ひ。か。折。折。の。強。く。り。つ。布。の。威。を。傳。る。も。紙
 初。と。り。穴。と。い。え。え。ご。う。ね。税。平。の。是。非。八。と。向。火。と。焼。つ。け。は。色。燃。る。葉。よ
 油。を。洗。ぐ。烈。し。き。怒。り。よ。些。由。擬。錢。せ。む。肩。衣。の。前。及。除。く。袴。の。後。入
 と。結。と。揚。り。か。二。人。う。ろ。ろ。押。黒。と。四。段。よ。う。え。ん。と。い。ひ。も。あ。い。と。走。り
 かの。泣。沈。む。か。涙。か。黒。髪。引。纏。め。吐。嗟。と。お。と。後。く。母。阿。也。と。い。言
 思。ゆ。り。ご。携。笛。を。突。退。く。る。壯。夫。よ。力。か。み。ご。濃。粧。入。毒。を。見
 う。後。ご。丹。五。兵。衛。と。税。平。を。推。退。て。女。見。わ。り。後。方。よ。坐。り。と。て
 い。ふ。や。う。か。海。と。小。厮。か。不。義。發。覺。て。その。罪。絶。く。腹。を。べ。り。と。ご。せ。れ
 とも。國。よ。王。法。あり。家。よ。家。則。あり。山。家。ご。の。原。武。士。あり。と。い。ふ。今。

新撰御成吉思汗

三十三



苦肉の計
淫婦打夫を
いさむ

山本平太

山本平太

久さく

久さく

あやき

おやき

あやき

人の堪みなるり商人の家を継がば商人の商人よりと私よ妻敵の聲
 ざらん緯の越と公へ弘まじ室町殿の仰と稟とごものゆるるる
 べし時とるや妾の比及るん軟今宵一夜の土藏へお深久松を内籠
 て捷と督より同ると死の親よりぬ袋中の多死鳥の劍羽おとえ
 く。餐とるよやと胃が截断彼末よ年を越とるとも國のは度と
 越がうらん久他も親が久松を縛久阿也女と庫の捷と
 来とくくといふ主豫て准依やとるん袂のうらより二條の麻
 索とるし出しその一條を久他に投与へお深を縛且久他と
 阿と煮つ忙しく麻索のわさうとぬのどが賜りの戴さうりから
 久松と拵るあざる左右の手も痛ぬやうかと結びめのまはり合せか
 めの書繪も文も書竭えぬ親と親と公の内庫一夜の獄舎

と引ともとが税平のその理は横あゆむる車坐る彼首首へ
 以を回し室町殿の嚴命を受る後と緯と延ととも僅三時四時
 一番鳥と冥土の前驅春告る曉の撞ハ命と縮生滅と己その
 位でも呻くおんおんおんおんおんおんおんおんおんおんおん
 を起し納戸へおんおんおんおんおんおんおんおんおんおんおん
 封ひおんおんおんおんおんおんおんおんおんおんおんおん
 固くこの捷と督引出前室五間の油と酈世帯と通とる二代の山
 迹家祝ふと相統しおんおんおんおんおんおんおんおんおんおん
 竭るよ易に庫中の財より先は竭るお深久松が命数をとる封
 土をへるに玉の捷玉手指あくお深持んとお深お深お深お深
 ふ針違入るるの底の底より柄杓と水祝ひおんおんおんおんおん
 油手よ

いふと本音

二六

糟（けりこ）三（さん）倍（ばい）りつ（りつ）ま（ま）か（か）。根（ね）脊（せき）よ（よ）る（る）く（く）も（も）と（と）り（り）。世（よ）の常（とこ）言（ご）ゆ（ゆ）いと宜（よろ）く（く）。あ（あ）ひ（ひ）の
 外（あ）は浪人（なみのり）の太刀（たち）の鈍（にぶ）さ（さ）よ（よ）と（と）咳（せき）く（く）も丹（に）五（ご）兵衛（べいゑ）へ（へ）税（い）平（へい）よ（よ）。夢（ゆめ）せ（せ）と（と）て（て）さ（さ）か
 ふ（ふ）。咳（せき）く（く）も（も）紛（ま）り（り）。是非（せひ）八（はち）と（と）客房（きやくばう）へ（へ）臂（うで）ぶ（ぶ）と（と）案内（案内）し（し）。天（あ）の明（あ）る（る）ま（ま）で（で）擧（あ）げ
 應（お）せ（せ）よ（よ）。誘（い）ひ（ひ）山（やま）家（け）生（せい）と（と）い（い）ひ（ひ）つ（つ）ふ（ふ）珠（たま）を（を）引（ひ）く（く）。その麻（あ）袋（ふくろ）を（を）長（なが）死（し）根（ね）の五（ご）
 尺（し）の（の）やめ（め）水（みづ）を（を）く（く）。瞭（りやう）拭（ふ）へ（へ）バ（バ）久（久）也（也）ゆ（ゆ）か（か）見（み）と（と）や（や）と（と）川（か）起（き）し（し）。物（もの）俵（はたけ）を（を）く（く）
 じ（じ）バ（バ）え（え）よ（よ）い（い）ぬ（ぬ）か（か）。誠（まこと）の道（みち）のよ（よ）。眞土（まこと）の旅（りゆう）の二（に）里（り）家（け）死（し）出（で）の門（かど）松（まつ）久（く）松（まつ）よ（よ）。り（り）し（し）
 縹（へい）練（れん）の誘（い）草（そう）。う（う）お（お）み（み）り（り）く（く）庫（ぐら）鍛（た）鑿（ざく）さ（さ）う（う）て（て）。そ（そ）ろ（ろ）ろ（ろ）の（の）く（く）と（と）死（し）神（かみ）の憑（つ）と（と）寓（い）人（にん）
 言（い）う（う）あ（あ）ん（ん）ど（ど）ら（ら）。う（う）ら（ら）白（しろ）く（く）と（と）鐵（てつ）細（さい）窓（まど）のめ（め）も（も）め（め）と（と）と（と）ど（ど）母（はは）親（おや）も（も）。殺（ころ）の（の）子（こ）
 ろ（ろ）と（と）亡（な）君（きみ）の（の）子（こ）を（を）捨（す）て（て）ぬ（ぬ）。菽（しやく）柑（かん）子（こ）ど（ど）り（り）く（く）栗（り）。楠（くすのぎ）の（の）血（ち）絡（ろ）ハ（ハ）と（と）絶（た）る（る）飲（いん）
 と（と）歎（なげ）く（く）忠（ちゆう）臣（しん）美（み）士（し）節（せつ）婦（ふ）互（あ）よ（よ）と（と）と（と）く（く）舊（きゆう）名（な）と（と）匿（かく）む（む）福（ふく）豆（まめ）莖（せい）蒙（もう）盒（こ）子（こ）福（ふく）
 へ（へ）名（な）の（の）ま（ま）ふ（ふ）と（と）是（こ）叶（は）の（の）禍（わざはひ）は（は）大（だい）歳（さい）の（の）二（に）更（もう）の（の）太（たい）鼓（こ）と（と）ま（ま）り（り）鳴（な）る（る）。た（た）ら（ら）中（ちゆう）庭（てい）投（な）て
 引（ひ）き（き）去（さ）。あ（あ）り（り）果（て）敢（あ）せ（せ）世（よ）ろ（ろ）り（り）たり（たり）。

松濤（しょうたう）史（し）秋（あ）七（しち）草（そう）卷（まき）之（の）五（ご）上（じやう） 終

公（こう）孫（そん）青（せい）史（し）卷（まき）七（しち）上（じやう）

七（しち）上（じやう）

